桜並木

佐世保市立早岐中学校
学校だより２２号
令和３年１２月　３日
校長　梛尾　吉嗣

学校教育目標：「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」

校訓：友愛「人を愛し、自然を愛する生徒（徳）」　創造「自ら学び、考え、創り出す生徒（知）」
健康「心身を鍛え、明るく活動する生徒（体）」

努力項目：「意気に感じる！」「素直であれ」

生徒会スローガン：「笑和前進　～輝く未来へ一歩ずつ～」

生徒主体で頑張っています！

さる11月30日（火）、生徒会の生活部が主体となって**「あいさつ学習」**を行いました。各教室で学級の生活部がリーダーとなり、日頃の自分たちのあいさつの状況を振り返るとともに、班を作って話し合いました。その後は事前のアンケート結果を確認し、私たちが目指すあいさつについての動画（生徒会役員が出演）を視聴しました。その動画の中で**「挨拶（あいさつ）」**についての意味が説明されていましたが、**「挨」**には、**「相手の心を開く」**という意味があり、**「拶」**には、**「相手に近づく」**という意味があるそうです。自分が積極的に挨拶することで、他人とのコミュニケーションもうまく取ることができるのではないでしょうか。今後も生徒会の生活部は、本校の一徳運動に掲げている**『お先にあいさつ』**を呼びかけていきますが、**『お先にあいさつ』**を実践していくためのポイントは、以下の三つです。

☆自分から進んで　　☆明るく　　☆大きな声で

あいさつは何より自分の気持ち次第。毎朝の校門でも、**「あいさつ学習」**を行った後では、さらに気持ちよくあいさつする人が増えました。生徒会の取組をしっかりと受け止め、早速実践する人が多くいることに、喜びを感じます。12月に入って、一気に冬本番を感じますが、**「相手の心を開き」「相手に近づく」**人が増えて、心の中はポカポカ温かく一日のスタート切ることができています。

中学生もしっかりと考えています。（税について）

11月25日（木）に、「中学生の税についての作文」の表彰のため、佐世保税務署の署長さんをはじめ、関係者の方が来校されました。

全国納税貯蓄組合連合会　会長賞:『当たり前の大切さ』　三年　金丸　かすみ　さん
佐世保税務署長賞:　『税は私の命』　三年　竹下　和花　さん
九州北部税理士会　佐世保支部長賞:『税と共に生きる』　三年　志田　希実　さん

当日はテレビ佐世保さんの取材も受けました。三人の作文は、職員室前の廊下にも掲示して、全校生徒にも読んでもらうようにしています。時に、中学生は社会の情勢には無関心と思われがちですが、今回の作文を読んでみても、自身の経験から感じたこと、中学生の今思うことなど、真剣に考え、高いレベルで表現し、またそれがしっかりと評価されています。年齢やキャリアに関係なく、私たち大人も学ぶことや教えられることがたくさんあることを、あらためて実感しました。

修学旅行（12/7～8）で学び（防災教育）を深めてきます

9月の予定を延期していました修学旅行（3年生）でしたが、来週（12/7～8）実施いたします。今回は阿蘇に行き、長崎県とはまた違った雄大な大自然を目の当たりにするとともに、平成28年4月に起こった熊本地震の震災遺構を見学しながら防災教育を深めてきます。仲間と寝食を共にしながら、見聞を広め、経験を積む場でもあります。取り組んでいるあいさつが校外においても実践できる良い機会でもあります。一泊二日ではありますが、一回り成長して帰ってくる姿をご期待ください。

※鮮明な画像等は、ホームページでご覧ください。